

第24回文化遺産国際協力コンソーシアム研究会

文化遺産とSDGs

2019.1.11 FRI. 13:30-17:00 (13:00開場)

定員 110名(入場無料・事前申込制)

会場 東京文化財研究所 地階セミナー室
(東京都台東区上野公園 13-43)

【主催】文化遺産国際協力コンソーシアム



趣旨

「持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)」を含む「2030 アジェンダ」は、2015年9月国連総会にて採択されました。これは持続可能な開発目標を世界へ示しています。SDGsは国連が歴史的に積み上げてきた成果の上に、築き上げた共有価値の集大成ともいえます。これは法律規制を伴う強い拘束力を持つ国際条約ではありませんが、外堀から行為を促すソフトで自主的な枠組みとして機能しています。

持続可能な開発目標17を見ると持続可能性の柱は、「社会」、「経済」、「環境」の3本とそれらに横断的な4つの分野に分けることができると思います。そこに「文化」というキーワードが明確に示されていないのが残念なことですが、それぞれの目標と169におよぶターゲットを詳細に見ていくと我々が行っている文化遺産国際協力に関連する事柄が書き込まれています。

政府は「持続可能な開発目標(SDGs)推進本部」を設置し、国家戦略としてSDGsを実施するための実施指針を策定しています。「4. 持続可能で強靱な国土と質の高いインフラの整備」の中に文化遺産国際協力の項目が

あり、「文化遺産国際協力推進法(2006年施行)を踏まえ、特に途上国において存続の危機に瀕する文化遺産を保護するため、ユネスコ等と協力しつつ、必要な修復事業の実施や人材育成等への支援を行う」とあります。

文化遺産国際協力は、それぞれの国の文化や文化の多様性を尊重しつつ他国の文化遺産の保護や振興にかかわる国際公益活動であり、目的を達成する手段として、人材育成、観光、地域振興、遺産保存などの活動を行うものです。しかし、過度で無秩序な文化観光や文化による地域振興開発が行われれば歴史的環境を保存し、未来へ引き継ぐ側が環境破壊を引きおこす側にまわることにもなりかねません。文化遺産を地域の資源として賢明に利活用するためには、文化遺産という「ものが語る物語」を維持するための保存と環境保護、地域開発の三者が調和するような持続可能な開発目標の下に行われなければなりません。SDGsのすべての目標はつながっていて、我々が好むと好まざるにかかわらず、文化遺産国際協力を考える場合の世界共通の物差しになると考えられます。この研究会では文化遺産国際協力におけるSDGsとは何かを考えてみたいと思います。

プログラム・登壇者

- 13:30 開会挨拶・趣旨説明
青木 繁夫(東京文化財研究所 名誉研究員)
- 13:35 「SDGs時代における、『文化』と『遺産』と『国際協力』」
佐藤 寛(アジア経済研究所 上席主任調査研究員)
- 14:15 「SDGsと観光開発協力」
浦野 義人(国際協力機構 産業開発・公共政策部 特別嘱託)
- 14:45 「文化遺産の持続的活用-南米アンデスの事例から」
関 雄二(国立民族学博物館 副館長/人類文明誌研究部 教授)
- 15:15 休憩
- 15:25 ディスカッション「文化遺産の国際協力とSDGs」
モデレーター：関 雄二
パネリスト：青木 繁夫、佐藤 寛、浦野 義人、
竹本 和彦(国連大学サステイナビリティ高等研究所 所長)
- 16:55 閉会挨拶
- 17:00 閉会
- 17:10 懇談会(事前申込・会費制)

会場・アクセス

会場：東京文化財研究所 地階セミナー室
(〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43)



- ◆ JR上野駅「公園口」より徒歩 15分
- ◆ JR鶯谷駅「南口」より徒歩 8分

申し込み方法

コンソーシアムウェブサイトの申込フォームよりお申しください。
<https://www.jcic-heritage.jp/eventform/>

※TEL・FAXでの申込みも可。氏名(ふりがな)・ご所属・電話番号・メールアドレス・会員/非会員・懇談会出欠をご記入の上、「コンソーシアム研究会参加希望」とお書きいただき、2019年1月7日(月)必着で事務局までお申し込みください。
※お席に余裕がある場合は当日参加も受け付けております。



お問い合わせ

文化遺産国際協力コンソーシアム事務局
〒110-8713 東京都台東区上野公園13-43
(独)国立文化財機構 東京文化財研究所内
E-mail: consortium@tobunken.go.jp
Tel: 03-3823-4841 Fax: 03-3823-4027



JCIC-Heritage

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



パコパンパ遺跡保存作業



ワークショップ風景